

## お知らせ

済生会松山病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料(血液やCT等の画像検査など)を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料(血液・画像検査等)を利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

### 【研究課題名】

腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術における腹膜切開法の違いによる手術成績の研究

### 【研究機関】 済生会松山病院

### 【研究機関の長】 宮岡弘明(病院長)

### 【研究責任者】 高井昭洋(外科主任部長)

【研究の目的】 過去に当院を受診され鼠径ヘルニアと診断され、手術を受けられた患者さんの診療録(カルテ)の情報を収集し、手術術式の妥当性の関係性を調べる研究を行うことといたしました。この研究は、腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術の治療成績の向上を目的とした臨床研究であり、その結果は今後の診療にも役立てられると考えています。

### 【研究の方法】

対象となる患者さん：2021年4月から2024年3月に済生会松山病院を受診された方で、鼠径ヘルニアと診断され、腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術を受けた患者さん

利用するカルテ情報：性別、年齢、体重、身長、生活習慣(喫煙歴、飲酒歴)、既往歴、血液検査データ、腹部CT検査、画像検査データ、手術の詳細(手術時間、出血量など)、術後合併症、術後在院日数、再入院の有無、再手術の有無などに関して、カルテ情報のみ利用します。

【個人情報の取り扱い】 収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者> 済生会松山病院 外科 高井昭洋

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

### 【お問い合わせ先】

済生会松山病院 外科 高井昭洋

791-8026 愛媛県松山市山西町880-2, Tel: 089-951-6111